

世界最高峰の特別な戦い F1日本グランプリの舞台 鈴鹿



2022 F1日本グランプリ 開催日程
10月7日(金)～9日(日)

世界最高峰の自動車レース「F1」。新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年、一昨年とF1日本グランプリの開催が見送られてきました。

今年、さまざまな困難を乗り越え、3年ぶりに私たちのまち鈴鹿にF1が帰ってきます。

今回のF1日本グランプリは、FIA（国際自動車連盟）が統括する今季のF1世界選手権シリーズ全22戦中の第18戦。シリーズ終盤戦で、チャンピオン争いが佳境に差し掛かっていることから、このレースがワールドチャンピオンの結果を左右するかもしれません。

1987年（昭和62年）に鈴鹿で初めて開催

されてから、32回目となる今大会。過去にはさまざまな伝説やドラマが生まれてきました。またチャレンジングな鈴鹿のコースは、ドライバーたちから大きな称賛を受けるとともに、世界的にもF1の聖地と認知されています。その世界的なコースで開催されるレースは、国内外から大きな期待をもって迎えられることでしょう。

今年は、鈴鹿市制施行80周年、鈴鹿サーキット開場60周年という記念の年。皆さんが待ち焦がれた3年分の情熱をエネルギーに変えて、F1日本グランプリをこの目で見届けましょう。

2年間で激変!F1戦局

前回、鈴鹿でF1が開催されたのは、2019年。そのときは「メルセデス一強」と呼ばれるほど、メルセデスが上位を独占していました。しかし、コロナ禍で世界が翻弄されたこの2年間、F1の戦局は大きく変化しています。

その大きな変化を与えたのは、ホンダのパワーユニットを搭載したレッドブルの快進撃です。強豪メルセデスの牙城を崩し、2021年、ホンダに30年ぶりとなるドライバーズタイトルをもたらしました。

そして迎えた今シーズン。ホンダはパワーユニットの製造から撤退したものの、そのDNAを受け継いだパワーユニットをもとに、トップを走るのがレッドブルとそのドライバーのマックス・フェルスタッペン。それに待ったをかける名門フェラーリとドライバーのシャルル・ルクレール。そして、再び最強の名を取り戻そうとするメルセデスとドライバーのルイス・ハミルトン。各チームのエースドライバーが、ワールドチャンピオンをかけて、熾烈な戦いをみせています。

世界に誇るコースを舞台に、最高峰のドライバーたちが魅せる走りにご注目ください。

レッドブル
マックス・フェルスタッペン



フェラーリ
シャルル・ルクレール



メルセデス
ルイス・ハミルトン



母国グランプリに挑む 日本人ドライバー

7年ぶりに誕生した日本人ドライバーがアルファタウリに所属する角田裕毅選手です。第12戦フランスグランプリでは、予選で8位を獲得するなど、その速さは秀逸。走り慣れた鈴鹿で、最高の走りが期待されます。



アルファタウリ
つのだ ゆうき
角田 裕毅



みんなで応援!市民応援席

世界最高峰のレースを手軽に観戦できるのが鈴鹿市民ならではの特権。F1日本グランプリの観客席に設けられた市民応援席から、約300人の市民が選手やチームを力いっぱい応援します。

コロナ禍になる前から毎年のように市民応援席で応援していました。市民の皆さんと一緒に応援できる雰囲気が魅力です。3年ぶりということもあり、レギュレーションの変更に伴う音や走りの変化を生で体感できることを今から楽しみにしています。



自由ヶ丘在住
やました ふみや
山下 典哉さん

3年ぶりのF1開催

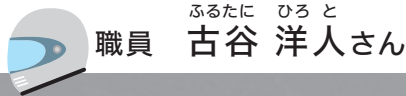
F1を地域で支える協議会

世界最高峰の自動車レース「F1」を地域で支えているのが、国、自治体、公共交通機関や商工関係団体など、官民36団体から構成される「鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会」。

2008年の設立以降、F1日本グランプリの開催に向けて、交通対策など市民生活への

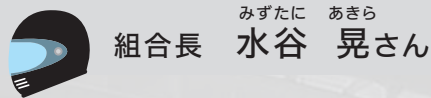
影響を最小化しつつ、観戦に訪れた方々が快適に楽しんでいただけるよう、さまざまなことに取り組んでいます。3年ぶりの開催に向けて準備を進める協議会の皆さんにお話を伺いました。

(一社) 鈴鹿市観光協会



F1が開催されない2年間の鈴鹿は、賑わいに欠け寂しい気持ちがありました。前回までのF1では、のぼり旗の設置などをしてきましたが、今大会では、白子駅を降りたときからF1のまち、F1の雰囲気を感じていただき、特別な思い出になるよう準備を進めています。白子駅前では車両の展示やキッチンカーを出店する予定で、コロナ禍でイベントがなくなった飲食店などの支援にもつながればと思います。3年ぶりの開催です。鈴鹿にお越しいただき観戦者を全力で「おもてなし」したいです。

鈴鹿市旅館業組合



コロナ禍で旅館業はとても厳しく、昨年は9月に三重国体、そして10月にはF1が中止になりました。鈴鹿市はサーキットを中心に、モータースポーツが盛んなまちとして知られ、F1をはじめ多くのレースが開催されるのが当たり前でしたが、レースがなくなり、その大切さを痛感しました。

今回3年ぶりにF1が鈴鹿に戻ってくることを、とても楽しみにしています。私たち旅館業に携わる者として、withコロナの中でできる精一杯のおもてなしでお客様をお迎えしたいと考えています。

三重交通(株) 中勢営業所・中部観光営業所



F1は世界中が注目する国際自動車レースで、その日本グランプリが開催される鈴鹿市を運行する交通事業者としては、担当営業所のみならず全社を挙げて輸送に携わる一大イベントです。3年ぶりの開催に対して、本当に待ちに待ったという思いでいっぱいです。

私たちの使命は、全国からお越しになるお客さんをサーキットまで安全にお連れすること。その上で、お待ちいただく時間を少しでも短くし、快適にご乗車いただけるよう、万全の準備で臨みたいと思っています。

鈴鹿市制施行80周年・鈴鹿サーキット開場60周年



特別企画

アニバーサリー・フォーラム

F1トークライブ2022

やまもとまさし まつだつぎお

山本雅史氏・松田次生選手らと語る



世界のSUZUKA 鈴鹿のF1

3年ぶりに鈴鹿へ帰ってくるF1日本グランプリを記念し、国内外のモータースポーツシーンで活躍する著名人を招いて開催する、鈴鹿市ならではのプレミアムなトークライブ。

最先端の技術を駆使した究極の戦いである

F1に関する秘密や、1987年以来、実に32回の開催を数える鈴鹿サーキットの成り立ちや魅力、私たちのまち鈴鹿市との関わりなど、さまざまな角度から”F1という偉大な文化”を深掘りします。

とき 9月24日(土)14時~15時30分
(13時開場、手話通訳あり)

ところ イスのサンケイホール鈴鹿 ホール

定員 1,275人(事前申込枠 限定700人)

料金 無料

主催 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会、鈴鹿市、NPO法人鈴鹿モータースポーツ友の会

協力 ホンダコレクションホール、ホンダモビリティランド(株)鈴鹿サーキット

参加方法

- 事前申込み:9月21日(水)までに申込みフォーム
(↑<https://forms.gle/DT9PGJU5ZLBkMzAp7>)で
- 当日参加:申込不要 ※入場制限を行う場合があります。

事前申込みした方の中から抽選で記念品をプレゼント

申込みフォーム▶



出演者



やまもとまさし
山本 雅史さん
元Honda F1マネージングディレクター
RBPT(レッドブルパワートレインズ)
アドバイザー/SFチームGOH監督



まつだ つぎお
松田 次生さん
レーシングドライバー
レーシングチーム監督



はたがわおさむ
畑川 治さん
レーシングアドバイザー
NPO法人鈴鹿モータースポーツ友の会
理事長



つじの
辻野ヒロシさん
レース実況アナウンサー
NPO法人鈴鹿モータースポーツ友の会
理事

アニバーサリー・EXPO

e-MotorSports EXPO 2022 in SUZUKA

eモータースポーツパイオニア企業による博覧会



さまざまな種類のレーシングシミュレーター体験が可能
世界のSUZUKAを駆け抜けよう

大人気



とき 9月24日(土) 11時~17時

ところ イスのサンケイホール鈴鹿 1階ロビー内

料金 無料

主催 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会、鈴鹿市、NPO法人鈴鹿モータースポーツ友の会

協力 鈴鹿商工会議所青年部 協力事業者

申込み 不要

今回の特集へのご意見・ご感想は地域資源活用課

☎ 382-9020 📠 382-0304 📧 chiikishigenkatsuyo@city.suzuka.lg.jp